# フルブリッジDCモータコントロールキット

#### はじめに

この度は、フルブリッジDCモータコントロールキットをご購入いただきありがとうございます。本キットは、可変抵抗器(電圧入力)によって、DCモータの正反転および回転数をコントロールします(リスト1)。また、プログラムを変更すれば、RCサーボ信号によりモータをコントロールするサーボアンプとしてもご使用いただけます(リスト2)。

本マニュアルに沿って、注意深く組み立ててください (モータ別売)。

#### 組立

表1に使用部品を示します。不足品のない事をお確かめください。 キットの製造時期によっては、完成写真と異なる部品が使用されてい る場合があります。図1に基板を示します。シルク印刷面が、部品取 付面となります。

部品は、背の低い順に実装します。 I C 2 、3 は実装済みですので、 抵抗から取付けてください。

- 抵抗R1~R6
- 積層セラミックコンデンサ C7、C8
- 積層セラミックコンデンサ C2~C6
- ICソケット
- ジャンパ | P1、ピンヘッダ X 1
- LED1、電解コンデンサ C1
- ・ 三端子レギュレータ IC1、MOSFET Q1 $\sim$ Q4の順に実装します。

ご購入時のプログラムのままで、可変抵抗器を使用してスピード及び 正反転コントロールをするときは、部品面のジャンパJP2をハンダ接 続します。

#### 接続

表2に接続一覧を、図2に接続を示します。 V\_Mはモータ電源、GNDはグランドです。

JP1にジャンパピンをセットすれば、PICへの電源(三端子レギュレータ入力)もV\_Mより供給されます。 PIC(制御回路)電源をモータ電源と分離する場合には、 JP1のジャンパピンを外して、VCCより電源供給します。 (モータの定格電圧が7Vより低い場合も、JP1のジャンパピンを外して、モータ電源には7V以下のモータ定格電圧、 VCCには7V~24Vの電圧の電源を接続してください)

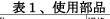
M+、M-はDCモータへの出力端子です。DCモータの 端子からのリード線をこちらに接続してください。

X1は信号入力です。可変抵抗器を使用する場合はJP2 をハンダ接続します。+、-を可変抵抗器の端子の両端に、 Sigを可変抵抗器の中央の摺動子に接続します。

モータ電流が連続して3A以上流れる場合には、図3に示すように、各MOSFETのソース(S)とドレイン(D)へのラインのレジスト(緑色の塗料)を細ドライバなどで除去し、銅線などをハンダ付けして電流的に補強してください。

図2. 基板接続





| 部品番号  | 名称           | 規格            |
|-------|--------------|---------------|
| JP1   | 2 P ピンヘッダ    |               |
|       | ジャンパピン       |               |
| X 1   | 3 P ピンヘッダ    |               |
| C 1   | 電解コンデンサ 50V  | 35ZLH100M6.   |
|       | 1 μ F        | 3 X 1 1       |
| C2、3、 | 積層セラミックコンデン  | RD15F105Z1H   |
| 4、5   | サ 50V1μF     | L2L-500       |
| C6、7、 | 積層セラミックコンデン  | RPEF11H104Z   |
| 8     | サ 50V0. 1μF  | 2 P 1 A 0 1 B |
| R1、2、 | 炭素被膜抵抗       | 1/6W 100Ω     |
| 3、4   |              |               |
| R 5   | 炭素被膜抵抗       | 1/6W 1kΩ      |
| R 6   | 炭素被膜抵抗       | 1/6W 10kΩ     |
| LED1  | 5 mm赤色 L E D | OSDR5113A     |
| Q1、2、 | MOSFET       | TK6R7A10PL    |
| 3、4   |              |               |
| IC1   | 三端子レギュレータ    | L7805CV       |
| IC2、3 | ゲートドライバIC    | MCP14700      |
| IC4   | マイクロコントローラ   | PIC16F1938    |
|       | 28P 丸ピンICソ   |               |
|       | ケット          |               |
|       | 可変抵抗器        | 10kΩB型VR      |
|       | 可変抵抗器        | 10kΩB型VR      |

#### 図1. プリント基板

(a)部品面(シルク面)

(b)ハンダ面

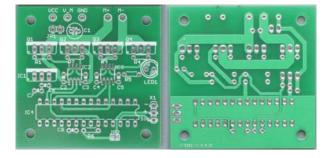
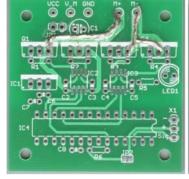
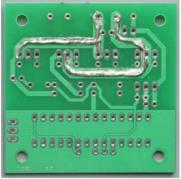


表2. 端子接続

| 端子名 |     | 接続                 |
|-----|-----|--------------------|
| VCC |     | PIC電源(三端子レギュレータ入力) |
| V_M |     | モータ電源              |
| GND |     | グランド               |
| M+  |     | DCモータ出力(+)         |
| M-  |     | DCモータ出力(一)         |
|     | 1   | 信号入力グランド           |
| X 1 | +   | +5V出力(JP2により接続)    |
|     | Sig | 電圧入力               |

図3. パターンの電流的補強





#### 使用方法

PIC電源をモータ電源と分離した場合は、VCC、V\_Mの順に電源を投入してください。VCCを投入すると、L ED1が点灯します。ジャンパJP1を接続している場合は、 $V_M$ を投入すると同時にLED1が点灯します。

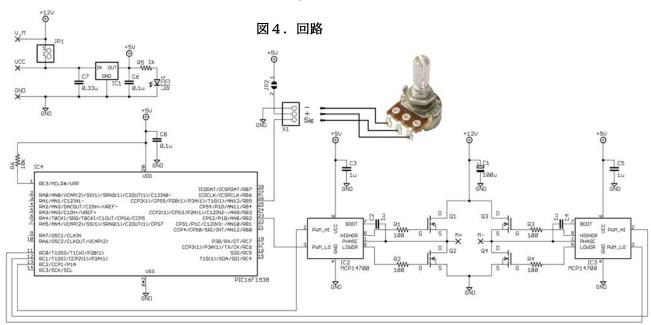
キットは、PWM制御によりモータ回転数をコントロールします。リスト1にプログラムを示します。可変抵抗が中点 (Sig端子電圧が2.5V) の時にDuty比は0%となりモータは停止します。Sig端子の電圧が2.5Vを超える とモータは正転します。5 Vの時にDuty95%となり、最大回転数で正転します。Sig端子の電圧が2.5 V未満 の時、モータは反転します。 0 Vの時にDuty95%となり、最大回転数で反転します。

このキットは、ラジコンサーボ信号で動作させる事も可能です。プログラムをリスト2に示します。この場合はラジコ ンより電源が供給されますので、JP2のジャンパを接続しないか、JP1のジャンパピンを外して使用します。

#### 什様

電源電圧VCC:7~24V 電源電圧V\_M : 2 4 V以下 ● 連続出力電流: 3 A

PWM周波数 : 1 k H z Duty可変範囲:0~95%



#### コントロールプログラム(電圧入力) リスト 1

#include <xc. h> #include <stdlib.h>

```
_CONFIG( FOSC_INTOSC & WDTE_OFF & PWRTE_OFF & MCLRE_OFF & CP_OFF & CPD_OFF & BOREN_ON & CLKOUTEN_OFF & IESO_OFF & FCMEN_OFF );
__CONFIG( WRT_OFF & VCAPEN_OFF & PLLEN_OFF & STVREN_OFF & BORV_HI & LVP_OFF );
```

#define XTAI, FREQ 8000000 /\* 動作周波数: 8MHz \*/ void initializePort( void ): initializePWM( void ); void initializeAD( void ): void void main (void) ad value, duty; /\* AD 変換値, Duty 比 \*/ /\* 初期設定 \*/ = 0b01110010; /\* 内部オシレータ 8MHz PLL OFF \*/ initializePort(); /\* ポート初期設定 \*/ initializePWM(); /\* PWM 初期設定 \*/ initializeAD(); /\* ADC 初期設定 \*/ while(1){ GO nDONE = 1: /\* AD 変換開始\*/ /\* AD変換完了待ち \*/ while (GO\_nDONE); ad value = ADRESH: /\* ad value にAD変換の結果を保存 \*/

### 消費電流の例(参考値)

・制御回路のみの消費電流:約10mA

 $\cdot$  RS-385PH-4045 (P-06439) 無負荷最大回転時:9V 0.7A

: 9 V 2. 5 A 無負荷時最大

 $\cdot$  RE-208RA-2865 (P-06438)

無負荷最大回転時: 4.5V 0.3A 無負荷時最大 : 4. 5 V 1. 5 A

 $\cdot$  FA-130RA-2270 (P-06437)

無負荷最大回転時: 3. 0 V 0. 2 5 A 無負荷時最大 : 3. 0 V 1. 3 A

if( (ad value > 123) && (ad value < 133) ) { /\* 2.4[V] < Vref < 2.6[V] ? \*/ /\* 両レッグをローサイド100%に \*/ CCPR1L CCPR2L = 0; }else{ = abs( (ad\_value - 128) \* 100 / 128); /\* Duty比[%]を計算 \*/ duty if( duty > 95 ) { duty = 95; } /\* Duty比を95%に制限 \*/

if( ad\_value < 128 ) { /\* 2.5[V} < Vref ? \*/ CCPR1L /\* 左レッグをローサイド100%に \*/ = PR4 \* duty / 100; /\* 右レッグを計算した Duty 比でドライブ \*/

}else{ CCPR11. = PR2 \* duty / 100; /\*左レッグを計算した Duty 比でドライブ \*/ }

```
}
}
void
          initializePort(void)
          PORTA = 0x00; LATA = 0x00; ANSELA = 0x00; TRISA = 0x00;
          PORTB = 0x00; LATB = 0x00; ANSELB = 0x00; TRISB = 0x00;
           PORTC = 0x00; LATC = 0x00; TRISC = 0x00;
           PORTE = 0x00; LATE = 0x00; TRISE = 0x00;
void
           initializePWM( void )
           CCPTMRSO
                     = 0b00000100; /* タイマの割り当てを設定 PWM モジュール1:タイマ 2 PWM モジュール2:タイマ 4 */
           /* 左レッグ設定 */
                                                      /* PWM 出力ポートを一旦 OFF */
          TRISC2
                     = 1:
                                TRISB2
                                           = 1:
          PR2
                                = 125;
                                                      /* PWM 周波数: 1kHz */
           CCPR11.
                     = 0:
                                                      /* Dutyを0%に */
           CCP1CON
                     = 0b10011100;
                                                      /* PWMモジュール1をON */
                     = 0b00000110;
                                                      /* タイマ2をON プリスケーラ:16 */
           T2CON
           PWM1CON
                     = 0b00000100;
                                                      /* デッドタイムを設定 2[us]*/
                                TRISB2
                                                      /* PWM 出力ポートを ON */
           TRISC2
                     = 0:
                                           = 0;
           /* 右レッグ設定 */
           CCP2SEL
                     = 0;
                                P2BSEL
                                           = 0;
                                                      /* P2AをRC1に, P2BをRC0に割り当て */
                                                      /* PWM 出力ポートを一旦 OFF */
           TRISC1
                                TRISC0
                                = 125;
                                                      /* PWM.周波数: 1[kHz] */
           CCPR2L
                     = 0;
                                                      /* Dutyを0%に */
           CCP2CON
                     = 0b10011100;
                                                      /* PWMモジュール2をON */
           T4CON
                     = 0b00000110;
                                                      /* タイマ4を0N プリスケーラ:16 */
           PWM2CON
                     = 0b0000100;
                                                      /* デッドタイムを設定 2[us] */
           TRISC1
                     = 0;
                               TRISCO
                                           = 0;
                                                      /* PWM 出力ポートを ON */
}
void
           initializeAD( void )
          TRISB5 = 1; ANSB5 = 1; /* RAOをAD入力ピンに設定 */
                     = 0b01010000;
                                         /* ADCクロックを2[us]に設定 */
           ADCON1
                                           /* ADCモジュールを ON */
           ADCONO
                     = 0b00110101;
           __delay_us( 100 );
                               /* 設定完了時間待ち */
                 コントロールプログラム(サーボパルス入力)
リスト2
#include
           <xc. h>
#include
           <stdlib.h>
 _CONFIG( FOSC_INTOSC & WDTE_OFF & PWRTE_OFF & MCLRE_OFF & CP_OFF & CPD_OFF & BOREN_ON & CLKOUTEN_OFF & IESO_OFF & FCMEN_OFF );
__CONFIG( WRT_OFF & VCAPEN_OFF & PLLEN_OFF & STVREN_OFF & BORV_HI & LVP_OFF );
           _XTAL_FREQ 8000000 /* 動作周波数: 8MHz */
#define
void
          initializePort( void );
           initializePWM( void );
void
           initializePinIntr(void);
void
          initializeCapture(void);
void
void
          main (void)
           /* 初期設定 */
           OSCCON
                    = 0b01110010;
                                           /* 内部オシレータ 8MHz PLL 0FF */
           initializePort();
                                           /* ポート初期設定 */
           initializePWM();
                                           /* PWM 初期設定 */
                                /* ピン変化割り込み初期設定 */
           initializePinIntr();
           initializeCapture();
                                /* キャプチャモジュール初期設定 */
          while(1):
void interrupt func (void)
                                is_cycle_overflowed = 0;
          static unsigned char
           if (IOCIE && IOCIF) {
                                /* 立ち上がり割り込み発生 */
                                                     = 0xFFFF - 50000;
                      /* 立ち下がり割り込みを動作 */
                     CCP3IF
                               = 0;
                     CCP3 IE
                                = 1;
                     /* 立ち上がり割り込みを停止 */
                     TOCRE
                                = 0x00;
                                           IOCIF
                                                      = 0:
                                = 0:
                     TOCIE
          }else if (CCP3IE && CCP3IF) {
                                           /* ウち下がり割り込み発生 */
                     unsigned short
                                           timer_value = 0, duty;
                     /* 割り込み発生時のタイマ値を timer_value に保存 */
                     timer_value = CCPR3H;
                     timer_value <<= 8;
                     timer_value |= CCPR3L;
                     timer_value = timer_value - (0xFFFF - 50000);
```

```
/* 立ち下がり割り込みを停止 */
                      CCP3 IF
                                 = 0:
                      CCP3 TE
                                 = 0:
                      /* 立ち上がり割り込みを動作 */
                      TOCBF
                                 = 0x00:
                      IOCIF
                                 = 0;
                                 = 1;
                      TOCTE
                      if ((timer_value > 2000) && (timer_value < 4000)) {
                                 /* パルス幅が 1ms くT く2ms */
                                 if (is_cycle_overflowed) {
                                                                   /* 超過周期フラグが ON */
                                             is_cycle_overflowed = 0;
                                                        = abs(3000 - timer_value) / 10;
                                             if(duty > 95){duty = 95;} /* Duty比を95%に制限 */
                                             if (timer_value < 3000) {
                                                        /* 正転 */
                                                        CCPR1L
                                                                   = PR2 * duty / 100; /* 右レッグを計算した Duty 比でドライブ */
                                                        CCPR2I.
                                                                   = 0;
                                            }else{
                                                        /* 反転 */
                                                                   = PR4 * duty / 100; /* 右レッグを計算した Duty 比でドライブ */
                                                        CCPR2I.
                                                        CCPR1L
                                                                   = 0;
                                            }
                                 }
           }else if (TMR1IE && TMR1IF) {
                                             /* パルス周期が 25ms 以上 */
                      TMR1IF
                      TMR1
                                 = 0xFFFF - 50000;
                                                        /* 25ms で割り込みが発生する */
                      is_cycle_overflowed = 1; /* 超過周期エラーフラグをセット */
                      /* 立ち上がり割り込みを動作 */
                      TOCBF
                                 = 0x00;
                                            IOCIF
                                                        = 0:
                      IOCIE
                                 = 1:
                      /* 立ち下がり割り込みを停止 */
                      CCP3IE
                                 = 0;
           1
}
           initializePort( void )
void
           PORTA = 0x00; LATA = 0x00; ANSELA = 0x00; TRISA = 0x00;
           PORTB = 0x00; LATB = 0x00; ANSELB = 0x00; TRISB = 0x00;
           PORTC = 0x00; LATC = 0x00; TRISC = 0x00;
           PORTE = 0x00; LATE = 0x00; TRISE = 0x00;
}
void
           initializePWM( void )
           CCPTMRSO
                      = 0b00000100; /* タイマの割り当てを設定 PWM モジュール1:タイマ 2 PWM モジュール2:タイマ 4 */
           /* 左レッグ設定 */
                                                        /* PWM 出力ポートを一旦 OFF */
           TRISC2
                                 TRTSB2
                      = 1;
                                            = 1:
                      = 125;
                                                        /* PWM.周波数: 1kHz */
           PR2
           CCPR1L
                                                        /* Dutyを0%に */
                      = 0;
           CCP1CON
                      = 0b10011100;
                                                        /* PWM モジュール1を ON */
                                                        /* タイマ2を ON プリスケーラ:16 */
           T2CON
                      = 0b00000110;
           PWM1CON
                      = 0b0000100;
                                                        /* デッドタイムを設定 2[us]*/
           TRISC2
                      = 0;
                                 TRISB2
                                             = 0;
                                                        /* PWM 出力ポートを ON */
           /* 右レッグ設定 */
           CCP2SEL
                      = 0;
                                 P2BSEL
                                            = 0;
                                                        /* P2AをRC1に, P2BをRC0に割り当て */
           TRISC1
                      = 1;
                                 TRISCO
                                             = 1;
                                                        /* PWM 出力ポートを一旦 OFF */
                                                        /* PWM.周波数: 1[kHz] */
           PR4
                      = 125;
           CCPR2L
                      = 0:
                                                        /* Dutyを0%に */
           CCP2CON
                      = 0b10011100;
                                                        /* PWMモジュール2をON */
                                                        /* タイマ4を ON プリスケーラ:16 */
           T4CON
                      = 0b00000110;
                                                        /* デッドタイムを設定 2[us] */
           PWM2CON
                      = 0b00000100;
                                                        /* PWM 出力ポートを ON */
                                 TRISCO
           TRISC1
                      = 0;
                                            = 0;
}
           initializePinIntr(void)
void
           TRISB5
                      = 1;
                                 /*RB5 の立ち上がりピン変化割り込みを許可 */
           IOCBP5
                      = 1;
           GIE
                      = 1;
                      = 1;
           IOCIE
           initializeCapture(void)
void
           TRISB5
                      = 1:
           TMR1IE
                      = 1;
           T1CON
                      = 0b00000001;
           CCP3SEL
                      = 1:
                      = 0b0000100;
           CCP3CON
           GIE
                                 PEIE
                      = 1;
                                            = 1;
                      = 1;
           CCP3 IE
}
```

## おわりに

Hブリッジドライバについては、メカトロ ニクス電子回路 (コロナ社) (ISBN-13: 978-4339008623) に解説を載せています。ご参照く ださい。

この基板は松江工業高等専門学校電気工学 科別府研究室にて設計致しました。

